

# 豊田市美術館 (愛知県豊田市)



写真 外観 画像提供 豊田市美術館

豊田市美術館は、美術館建築で名高い建築家の谷口吉生(たにぐち・よしお)による設計で、1995年に開館した。シンプルなフォルムに、乳白色のガラスと深い緑のスレートをまとった姿は、それ自体が美術作品のような洗練された佇まいを魅せる。夜になり展示室が光を帯びると、美術館の2階大池の対岸からの眺めは、水面に浮かび上がるランタンのようである。この光景は、日没が閉館時間より早い時期のみ見られる(写真 外観)。

館内には、ヨーロッパの現代美術を中心とした作品を多く収蔵している。一方では、クリムトや岸田劉生をはじめとする近代美術の名品やウィーン工房などの工芸美術も収集している。

美術館は、かつて「七州城」と呼ばれた旧拳母藩の城があった豊田市の市街地を一望できる高台に建つ。敷地内には、同じく谷口吉生による設計の、茶室「童子苑」も有する(表紙写真 茶室「童子苑」 画像提供 豊田市美術館)。

<参考>

豊田市美術館

<https://www.museum.toyota.aichi.jp/>



(表紙の写真)

豊田市美術館

場所：愛知県豊田市



<アクセス>

- 名鉄豊田市駅から徒歩で約15分
- 東名高速道路豊田ICから車で約15分